

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第2学年 「算数（大日本図書）」

123時間（70%）

週	指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点
1	D (1) ア (7) イ (7)	1. せいりのしかた	①せいりのしかた	3	
			たしかめもんだい、単元のまとめ等		
2	A (2) ア (7) (9) イ (7)	2. 2けたのたし算	①2けたのたし算	5	・練習問題の中で、「きまり」に気付ける問題を準備することで、②を効果的に進める。
			②たし算のきまり	2	
			たしかめもんだい、単元のまとめ等	7	
3	A (2) ア (7) (9) イ (7)	3. 2けたのひき算	①2けたのひき算	7	・たしかめ問題は①～②の追究の過程において、授業や家庭学習で扱い進めておく。
			②計算のたしかめ	1	
			たしかめもんだい、単元のまとめ等	8	
4	C (1) ア (7) (4) イ (7)	4. 長さのたんい	①長さのあらわし方	7	・具体物を操作する時間を確保する。
			②長さの計算	1	・家庭での反復練習ができるよう、課題を工夫する。 ・児童の実態に沿った課題を準備することで、定着を図る。
			たしかめもんだい、単元のまとめ等	8	・たしかめ問題は①～②の追究の過程において、授業や家庭学習で扱い進めておく。
6	A (1) ア (7) (4) イ (7) A (2) ア (4) イ (7)	5. 100より大きい数	①数のあらわし方	7	・具体物を操作する時間を確保する。
			②千	1	
			③たし算とひき算	1	
			④読みとる力をのぼそう	1	
			たしかめもんだい、単元のまとめ等	10	・たしかめ問題は①～④の追究の過程において、授業や家庭学習で扱い進めておく。
8	C (1) ア (7) (4) イ (7)	6. かさのたんい	①かさのあらわし方	5	・教師による実験及び観察をする時間を確保する。 ・家庭にある物について、積極的に調べさせる。
			たしかめもんだい、単元のまとめ等		5
9	C (2) ア (7) イ (7)	7. 時こくと時間	①時こくと時間	4	・たしかめ問題は①～②の追究の過程において、授業や家庭学習で扱い進めておく。
			②時こくのあらわし方	1	
			たしかめもんだい、単元のまとめ等	5	
10	A (2) ア (7) (4) ア (9) イ (7)	8. たし算とひき算のひっ算	①たし算のひっ算	2	・具体物を操作する時間を確保する。
			②たし算のきまり	2	
			③ひき算のひっ算	3	・具体物を操作する時間を確保する。
			④大きな数のたし算とひき算	2	
			たしかめもんだい、単元のまとめ等	9	・たしかめ問題は①～④の追究の過程において、授業や家庭学習で扱い進めておく。
11	B (1) ア (7) (4) イ (7)	9. 三角形と四角形	①三角形と四角形	4	・具体物を操作する時間を確保する。
			②長方形と正方形	3	・具体物を操作する時間を確保する。

12			③直角三角形	2	
			④もようづくり	1	
		10 時間	たしかめもんだい、単元のまとめ等		・たしかめ問題は①～④の追究の過程において、授業や家庭学習で扱い進めておく。
13	A (1) ア (ㄱ) イ (7)	10. かけ算	①かけ算	4	・具体物を操作する時間を確保する。
	A (3) ア (7) (4) (9) (ㄱ) イ (7) (4)		②九九	8	
14			③ばいとかけ算	2	
			④かけ算ビンゴ	1	・家庭でも同様のゲームを通して、定着を図る。
			⑤九九のカードゲーム	1	・家庭でも同様のゲームを通して、定着を図る。
		15 時間	たしかめもんだい、単元のまとめ等		・たしかめ問題は①～⑤の追究の過程において、授業や家庭学習で扱い進めておく。
15	A (1) ア (ㄱ) イ (7)	11. かけ算九九づくり	①かけ算九九づくり	7	
16	A (3) ア (7) (4) (9) (ㄱ) イ (7) (4)	9 時間	②たしかめもんだい	2	
17	C (1) ア (7) (4) イ (7)	12. 長いものの長さのたんい	①長いものの長さのあらわし方	3	
		5 時間	②たしかめもんだい	2	
18	A (1) ア (7) (4) (9) イ (7)	13. 1000より大きい数	①大きな数のあらわし方	5	・数のしくみのよさを、繰り返し表現させて、定着を図る。
	A (2) ア (4) イ (7)		②一万	1	
			③何百のたし算とひき算	1	
			④たしかめもんだい	1	
19	A (2) ア (ㄱ) イ (7)	14. たし算とひき算のかんけい	①たし算とひき算のかんけい	5	・図の指導を丁寧に行う時間を確保する。 ・児童自らが図を使いながら説明できる場の設定を行う。
	6 時間	②たしかめもんだい	1		
20	A (2) ア (ㄱ) (ㄷ) イ (7)	15. かけ算のきまり	①かけ算のきまり	6	・多様な考え方を共有できる工夫をする。
		7 時間	②たしかめもんだい	1	
21	A (1) ア (ㄱ) イ (7)	16. 分数	①分数	4	・具体物を操作する時間を確保する。 ・折り紙やテープ図を使って、分数の概念の定着を図る。
		4 時間			
	B (1) ア (9) イ (7)	17. はこの形	①はこの形	3	・具体物を操作する時間を確保する。
			②たしかめもんだい	1	
		4 時間			

※時間数の精選方法（例）

○授業では学習の動機付けや考えを交流する活動を行い、学びを深める活動に重点をおく

- ・授業中は学習の見通しをもって問題解決を行うことで、単元、単位時間の授業を充実させます。逆に、単元末の問題や授業中に扱いきれない問題を解くことや、模型の作成等は家庭学習も利用します。

○活動の機会をつくる。

- ・第2学年では、おはじきや箱などを操作したり、計測や計量を行ったりする中で、気づきを促したり、理解を深めたりすることが大切です。扱う内容に軽重をつけることにより、ねらいを明確にした活動の機会を重視するとともに、日常生活の中でも繰り返し活用できるように促します。

○指導内容に基づき、授業中に扱う考えや活動を精選する。

○考え方や活動、内容を関連付けて扱う。